

静岡・中部

静岡 静岡 静岡 静岡

(17) (中) 中 平成18年(2006年)5月14日 (日曜日)



静岡「里親サロン」開設

静岡市里親会がこのほど、里親同士の交流の場として「里親サロン」を開設した。

サロンと言っても常設ではなく、会員宅を開放して年々本回りの事業だが、特に養育経験が短い里親にとっては、先輩の里親からの実体験に基づくアドバイスは、何よりも心の支えになるだろう。サロンを拠点として里親制度の一層の活性化を期待したい。

両親の離婚や病気、虐待などで家族と暮らすことができ

ない子供たちが県内には約八百人いる。大半は乳児院や児童養護施設で暮らしているのは9割を占めている。専門的な研修を受け、虐待を受けた児童や障害児などを預かる専門里親制度も始まった。県内で登録を受けたのはまだ六人。養子縁組を希望する里親や、研修を受けてま

で里子を預かる気はないという里親が多く、なり手が少ないのが現状だ。一方、実の親を引き止めるという目標を定め、テレビドラマが放映されたり、全国里親会が発足したりするなど、その状況も少しずつ変わりつつある。

子育ては苦勞があっても、それ以上に喜びが多いはず。実子と里子を育てている里親の一人は「実子を育てた時より気持ちに余裕があるせい」が、里子の方が実子よりかわいいらしい」と話す。里親会の会員だけでなく、これからの里親をやってみたい

度、全国で初めて三万件を超えた。家庭の温かさを知らないまま施設で育った子供が結婚して子供を産み、育て方が分からず虐待してしまうケースもある。心身が傷ついた子供こそ、温かい家庭で十分に愛情を受け、人間への信頼感を養うことが大切だ。

欧米では親と暮らすことができない子供は、まず里親に託されるという。国もようやく里親の普及に力を入れ始め、要保護児童の里親委託率を二〇〇八年度までに15%

も里親より施設を選ぶことが多いという。里親の普及が進まない理由の一つに、里親の実態が世間に十分に知られていないということがあるだろう。差別やいじめを恐れ、里親や里子であることを周囲に知らせていない人も多い。しかし、里親や里子経験者の手記に基づい

地域との交流拠点に

一人、里親にはなれないが支援はできる人などが、サロンに加わるようになれば、里親の普及につながるのではない

か。里親サロンが県内の全地域に置かれ、里親と地域との交流拠点になるように、行政も支援体制を整えてほしい。

(社会部 増田恵子)

を二〇〇八年度までに15%

ない人も多い。しかし、里親

や里子経験者の手記に基づい